



まちの 魅力が あふれる 交野へ



各部の重点的施策

▶ **政策・財政コントロール** 「市長戦略」など、各種施策を推進していくとともに、中長期的な視点で公共施設のあり方を検証し、計画的な老朽化対策を盛り込んだ「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組みを進めます。

企画財政部

▶ **目標管理型評価制度** 職員の能力向上・組織力アップ、住民サービスの向上を目的に、27年度に試行的に行ったこの制度を、28年度からは本格的に実施していきます。

▶ **セキュリティ強化** マイナンバー制度の運用開始により、新システムの構築と運用方法を見直し、セキュリティ強化を図ります。

▶ **法務職の配置** 法制執務の向上を図ります。

総務部

▶ **防犯対策** 通学路への防犯カメラの設置を拡充させ、犯罪抑止につなげるとともに、地域防犯力の向上に努めます。

▶ **消費者施策** 市民の安全・安心な消費生活を実現するために、市民団体、小・中学校の児童や生徒への出前講座などを実施し、消費者教育の啓発を図ります。



▶ **産業振興策** 「創業支援事業計画」に基づき、創業に関する相談窓口の充実や、女性向けの創業セミナーなどを開催し、市内での創業・起業の促進に努めます。

▶ **「モノ」シェアリング制度** 市民活動団体や地域コミュニティ組織の自主的な活動を促進するため、市有財産を貸し出し、さらなる協働のまちづくりを推進します。

地域社会部

▶ **国民健康保険** 市民の健康寿命の延伸を目的に、28年度から実施する「健康ポイント制度」を特定健診・人間ドック事業に付し、健診受診率の向上につなげます。また、28年度から市民部に税務室を位置付ける組織改編を行い、部内で連携を図り滞納整理のスキルを高めるとともに、きめ細やかな納付相談に努めます。

▶ **証明書発行コーナー** マイナンバーカードによるコンビニエンスストアでの各種証明書交付の開始に続き、10月には市役所本館1階ロビーに証明書発行コーナーを開設します。これにより、市民課・税務室の各種証明書の交付業務を一元化し、効率的な窓口体制整備を進めます。



市民部

▶ **幼児期の教育・保育** 29年度に公立幼児園が幼保連携型認定こども園へ移行するのに伴い、教育を受ける1号認定の子どもに対する3年保育を実施します。また、待機児童なども考慮し、適切に運営できるよう準備を進めます。

▶ **健康ポイント制度** 市民主体の健康づくりを促進し、健康寿命を延ばすことを目指します。

▶ **子ども・子育て支援** 妊娠から出産・子育てまで切れ目ない支援を行うため、専門職員による総合窓口を設置し、支援の充実を図ります。

▶ **保育所・幼稚園と小学校の連携** 保育所などで、専門職員が発達などに課題のある幼児への助言を実施している巡回相談を、市内全小学校1年生入学時に引き継ぎ相談を実施していきます。

健やか部

▶ **市民やハイカーの安全対策** 市民やハイカーの安全・安心確保のため、近年拡大が著しいナラ枯れなどの危険木による被害を防止するための対策を実施します。

▶ **新ごみ処理施設の整備** 現在、建設工事が行われています。また、稼働後にはリサイクルセンターと寺作業所を閉鎖することから、両施設の跡地利用の検討を進めます。

環境部

▶ **障がい福祉施策** 「障害者差別解消法」における合理的配慮や、不当な差別的取り扱い禁止に関する事項について、「職員対応要領」を定め、職員などを対象とした研修と市民への周知啓発を行います。

▶ **認知症高齢者施策** 早期発見・早期対応できる支援体制づくりを進めます。また、「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」の円滑な実施に向け、検討を進めます。

福祉部

日本は今、人口減少・少子高齢化という大きな課題に直面しています。本市におきましてもこの流れは、今後ますます進展する見込みで、国の推計では現状のまま推移すれば、2060年には、本市人口が5万人台になると予測されています。

このような状況にあって、本市がこれからも活力あるまちとしてあり続けるためには、人口減少の流れを少しでも緩やかにすることが重要です。そのためには、「交

施政方針の思い

2月29日(月)、28年第1回議会定例会が開会され、冒頭、黒田市長が新年度に臨む施政方針を表明しました。

「市長戦略」の重点施策である政策プランを基に、市民のみなさんの暮らしを支えるため、また、交野の魅力を高めていくための施政方針要旨をお伝えします。

問い合わせ 秘書・政策企画課 (TEL 892・0121)

また、本市を取り巻く環境は、人口減少問題のみならず、公共施設の老朽化対策、新ごみ処理施設建設などの大型事業に伴う財政負担の増加、星田駅北エリアと星田駅周辺も含めた市全体のまちづくり、土地開発公社の健全化など、取り組むべき課題が山積している状況であります。

特に、公共施設の多くは建築から約40年が経過するなど、それぞれの施設が耐用年数を迎える中で、施設の効率的運営の視点や財政的な観点から、施設機能の集約や統廃



野市人口ビジョン」および「交野市まち・ひと・しごと創生

合など、より効果的・効率的な施設運営を視野に入れておく必要があります。

このような課題を踏まえ、「市長戦略」では、「ずっと」がたの「もつと」がたの「自然と人が共生し子育てと地域の絆で元氣な交野!!」という将来ビジョンを掲げました。

ビジョンは、これまで交野が培ってきたものをこれから大切に守り、引き継いでいく、そしてもっと交野の魅力を高めていくために、自然豊かな交野で人が共生し、次の世代を育て、子どもから高齢者まで地域の絆で元氣なまちにしていくという思いで掲げております。

行革プラン・財政プラン・政策プランを軸に、限りある行政資源(人・もの・お金・情報)を最大限に有効活用し、ビジョン達成に取り組みしていきます。

予算編成

28年度予算におきましては、市税収入や地方交付税に關しては、一定の確保ができるもの、新ごみ処理施設の整備などの大型事業に加え、社会保障関連経費が増加するなど、非常に厳しい予算編成となりました。しかし、限られた財源の中で、市長戦略や総合戦略に掲げる重点施策など、まちの魅力を高めるための施策に、重点的に予算を配分することができました。

平成 28年度当初予算

一般会計	239億 6,836万 3千円
国民健康保険特別会計	99億 7,455万 4千円
下水道事業特別会計	14億 9,489万 6千円
介護保険特別会計	55億 576万 3千円
公共用地先行取得事業特別会計	8億 8,999万 2千円
後期高齢者医療特別会計	10億 9,254万 2千円
水道事業会計	29億 5,824万 2千円
総額	458億 8,435万 2千円



- ▶ **星田駅周辺のまちづくり** 星田北・高田地区の早期の事業開始や星田駅北地区の準備組合への移行に向け、28年度は専任体制を整え、技術的支援などを行うとともに、財政支援内容を十分精査し、事業実現化を目指します。
- ▶ **移住・定住の促進事業** 子育て世帯が、市内に在住する親世帯と同居・近居してもらえるように、事業を促進します。

- ▶ **健康遊具の設置** 高齢者社会を見据え、健康寿命を延ばすまち、を目ざし、遊歩道の整備や公園などに健康遊具の設置を推進します。
- ▶ **下水道事業** 普及率約95%となっている下水道未普及地域の整備を引き続き推進します。また、未整備地域である星田北地域については、まちづくりを見据え、幹線管渠の整備に向けて検討を進めます。

- ▶ **新学校給食センター** 28年2月に建設工事が竣工を迎え、28年度から運用を開始します。施設能力を発揮した、より安全・安心でおいしさを追求した学校給食の提供を行います。
- ▶ **小学校の英語教育** 社会のグローバル化に対応するため、外国語指導助手を拡充するとともに、新たに「グローバル・コミュニケーション能力向上支援事業」を実施し、英語教育の充実を図ります。



- ▶ **学校規模の適正化** 27年度に策定した「交野市教育大綱」に基づき、子どもの減少や老朽化する学校施設の維持・更新などの課題に対応するため、「公共施設等総合管理計画」の策定と併せ、今後の学校規模の適正化について基本方針を策定します。

- ▶ **社会教育** 市民がスポーツや文化活動などを通して、心身ともに健康で豊かな生活を送ることができるよう、今後10年を目安とした「生涯学習基本計画」を策定します。
- ▶ **放課後児童会** 夏休み期間中などは、8時30分から開館していた児童会を、8時から利用できるよう人員を配置し、子どもたちが安全に安心して過ごすことができる居場所づくりを推進します。

- ▶ **子どもの読書活動推進** 「第2・3次交野市子ども読書活動推進計画」に基づき、ブックスタート事業での絵本の配布や、自動車文庫の夏期保育園などへの乗り入れなど、さまざまなサービスを実施します。
- ▶ **まちの図書館化事業** 図書に親しんでもらうため、リサイクル図書を活用して、市内の協力店などに「図書コーナー」を設置します。



- ▶ **AEDの配備** 28年度は、コンビニエンスストアと消防団7分団すべてにAEDを配備し、さらなる救命率向上を目指します。
- ▶ **消防指令業務** 枚方寝屋川消防組合との共同運用を円滑に継続し、救急重複出動などの相互応援協定を活用しながら、市民の安全・安心の向上を目指します。



- ▶ **給水事業** 私市浄水場跡地で計画している、浄水池および送水ポンプ棟の築造工事は、自己水8・企業団水2の割合で「よりおいしい水」の給水に向け、30年度完成を目ざし施工中です。
- ▶ **送・配水管の工事** 新ごみ処理施設および磐船地区への新規給水に伴う、送・配水管布設工事を28年度給水開始に向け取り組んでいます。

28年度施政方針の内容は、多くが市長戦略に関連するものとなっております。しかし、これは市長戦略に掲げる施策のみを実施するというのではなく、これまでの施策や事業で必要なものはきっちり行っていく中で、特に重点的な取り組みを表したものです。

市長戦略についてのタウンミーティングでは、多くの市民のみなさんにご参加いただきました。いただいた貴重なご意見は市役所内で共有し、施策展開に生かすとともに、今後もみなさんと対話する機会を大切にしてまいります。

多くの課題もありますが、決して課題ばかりを強調し、悲観するのではなく、交野が持つ地域資源や長所を生かし、まちの魅力を高めていくために、職員が一丸となって考え行動し、しっかりと着実に歩みを進めてまいります。

交野市長 黒田 実